

# News Release

2024年1月25日  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
NITE（ナイト）  
東北支所

## 無頓着は火事の元！

～5年で2倍、配線器具の火災事故～  
(東北版資料)

### 1. 事故の発生状況

2019年から2023年までの5年間で、NITEに通知があった製品事故情報<sup>\*1</sup>では、配線器具の火災事故は131件発生しており、そのうち東北地方6県(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)では4件の事故がありました。

被害状況は拡大被害2件、製品破損2件となっております。



撮影協力：株式会社畑屋製作所

コードを引き出さずに最大消費電力を超えて使用し、コードリールが発火（再現実験）

表1 「配線器具の火災事故」の発生前別件数

発生年 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
2019年							0
2020年			1				1
2021年			1				1
2022年							0
2023年	1		1				2
合計	1	0	3	0	0	0	4

表2 「配線器具の火災事故」の被害状況別発生件数

被害状況 \ 発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
人的被害	死亡						0
	重傷						0
	軽傷						0
物的被害	拡大被害		2				2

	製品破損	1		1				2
被害なし・不明								0
合計		1	0	3	0	0	0	4

表3 「配線器具の火災事故」の原因区分別発生件数

原因区分		発生県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	合計
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの								0
	B: 製品及び使い方に問題があったもの								0
	C: 経年劣化によるもの								0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの								0
	小計								0
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの								0
	E: 誤使用や不注意によるもの				1				1
	F: その他製品に起因しないもの								0
	小計				1				1
その他	G1、G2: 原因不明のもの				2				2
	H: 調査中のもの	1							1
	小計	1			2				3
合計		1	0		3	0	0	0	4

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含み、事故発生年月が不明なものを除きます。

## 2. 主な事故事例

- 2020年8月24日 配線器具（コードリール）（宮城県、年齢不明男性）  
 事故内容： 倉庫で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。  
 事故原因： 当該製品は、コンセント部が改造され、規格電流値以上の状態で使用されたため、内部の摺動接点部に過電流が流れ異常発熱し、出火に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「分解、改造しない。」旨、記載されている。
- 2021年7月8日 配線器具（延長コード）（宮城県、50歳代女性）  
 事故内容： コンセントに差し込んだ延長コードの差込みプラグが焦げて変形していた。  
 事故原因： 可動式プラグのリベット部で異常発熱して焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況等が不明であり、異常発熱した原因の特定はできなかった。
- 2023年3月19日 配線器具（延長コード）（宮城県、40歳代男性）  
 事故内容： 延長コードを使用中、差込みプラグ付近から出火し、周辺を焼損した。  
 事故原因： 可動式差込みプラグのリベット部で異常発熱して焼損したものと考えられるが、焼損が著しく、詳細な状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。

### 3. 「配線器具」の気をつけるポイント

- **電源プラグ及び電源タップは小まめに掃除し、水分が付着しないよう注意する。**
  - ・ 電源プラグをコンセントや電源タップとの間に隙間がある状態で差したままにすると、隙間にほこりがたまったり、水分が付着したりしてショートやトラッキング現象が生じるおそれがあります。
- **無理な力を加えない、変形したプラグは使用しない。**
  - ・ 電源コードに無理な力が加わる使い方をすると、電源コードの芯線が断線したり、電源プラグが変形してコンセントの刃受け金具と正常に接触できなくなったりして、異常発熱や発火に至るおそれがあります。
- **接続可能な最大消費電力を超えて使用しない。**
  - ・ 接続可能な最大消費電力や定格電流を超えると発熱を生じ、コンセント部の刃受け金具と電源プラグの栓刃の接触が緩い箇所で異常発熱したり、電源コードの絶縁被覆が破損してショートしたりして発火するなどの事故につながります。



トラッキング現象による事故の再現映像



断線した電源コードの発火



接続可能な最大消費電力の表示例  
(テーブルタップ)

### 4. 製品事故の実験映像につきまして

製品事故の写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。  
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所(略称:NITE)

責任者(支所長):高橋 幹男

担当:齋藤(さいとう)、福井(ふくい)、成田(なりた)

電話:022-256-6423

E-mail: [jiko-tohoku@nite.go.jp](mailto:jiko-tohoku@nite.go.jp)

NITE  
ホームページ

YouTube  
公式チャンネル

Twitter  
公式アカウント

